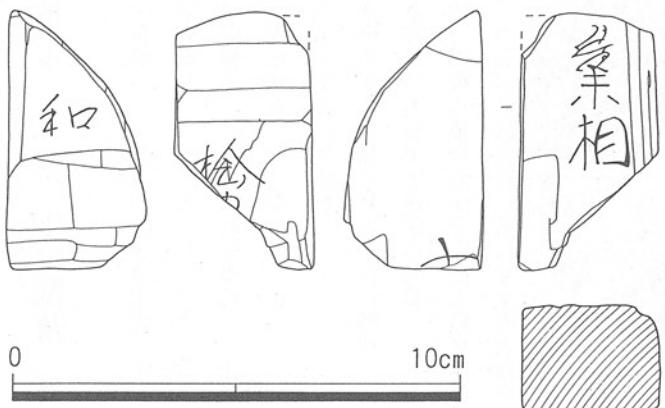


上下両端とも、後からの加工とみられる切断・削りがあり、本来の大きさや形状用途は不明だが、約三cm角の角材の四面に墨書きがみられる。各面の書き出しが一字ずつ下がって始まっている。

この木簡については国立歴史民俗博物館の平川南氏のご教示を得た。

(鈴木良孝)



木簡研究第一六号

吉田
孝

卷頭言

一九九三年出土の木簡

概要 平城宮跡 平城京跡右京二条三坊四坪 薬師寺旧境内 大安寺旧境内 興福寺旧境内 東大寺 阪原阪戸遺跡 藤原宮跡 下茶屋遺跡 長岡京跡(1) 四坊 飛鳥京跡 定林寺北方遺跡 金剛寺遺跡 長岡京跡(1) 長岡京跡(2) 平安京跡左京三条三坊十三町 大坂城跡(1) 大坂城跡(2) 大坂城下町跡 若江遺跡 西ノ辻遺跡 拏狭遺跡(1) 拏狭遺跡(2) 拏狭遺跡(3) 布ケ森遺跡 見藏岡遺跡 木梨・北浦遺跡 藤江別所遺跡 阿形遺跡 伊勢寺遺跡 御殿二之宮遺跡 東中館跡 長崎遺跡 八幡前・若宮遺跡 大宮遺跡 三堂遺跡 鴨田遺跡 大亥遺跡 杉崎廃寺 元総社寺田遺跡 南A遺跡 安子島城跡 山王遺跡 今塚遺跡 払田柵跡 福井城跡 一乘 谷朝倉氏遺跡 戸水大西遺跡 西念・南新保遺跡 八幡林遺跡 宮長竹ヶ鼻遺跡 タチヨウ遺跡 円城寺前遺跡 古市遺跡 郡山城下町遺跡 周防國府跡 初瀬遺跡 船戸遺跡 ヘボノ木遺跡 原の辻遺跡 一九七七年以前出土の木簡(一六) 平城京跡左京一条三坊十五・十六坪

沖縄の呪符木簡

いまに息づく呪符・形代の習俗

文書木簡はいつ廃棄されるか

史料紹介

近世の畠の頭板について

史料紹介

近世の荷札木簡の一例

山里純一

奥野義雄

今泉隆雄

今津勝紀

鈴木景二

頒価 五五〇〇円 送料六〇〇円